



2010年10月17日

【先週のメッセージより】

第一サムエル13章、15章

従うことはいけにえにまさる！

●サウルは王に選ばれていながら、致命的な弱さがあった。それは、彼自身が神との個人的な関係を育てようとしなかったことにある。彼は確かに聖霊に満たされ

預言をしたこともあったが、それは一時的なことでしかなかった。

●人は自ら神を求め、神との関係が強くなることで、他者の目を恐れなくなるようになるが、サウルは神との関係において成長することがなかったため、いざ厳しい状況に陥ると、決まって「人の目を恐れて」行動した。13章でサムエルが来る前に全焼のいけにえを自らささげてしまった時も、15章のアマレクとの戦いにおける分捕り物に関する失敗の時も結局は同じ過ちを犯してしまったのである。

●サウルは最後まで「わが神」と自分から神に語ることはなく、サムエルに向かって「あなたの神」と言っていたように、他人の信仰に頼っていた。心を神で満たさないなら、心は「自分」でいっぱいになってしまうことを覚えなければならない。

◆サウルの失敗を犯さないために

- 1) 神に最後まで従い続けることを心の中で決意する。
- 2) 従い続けることができるよう、助けを求め続ける。
- 3) 神を礼拝する場に毎週来て、常に人生の優先順位を確立し直す。
- 4) 心のデトックス (DE-TOX) 解毒をする
 - a) 罪深い物を目と耳に入れない。目と耳は私たちの霊と関係します。
 - b) 内にある罪を告白して、悔い改めて、捨てる。
 - c) 御言葉を食し、霊的身体を作る。
 - d) 御言葉を行ない霊的筋力を訓練する。

●神は私たちが強くしたいと願っておられる。私たちが神を愛せば愛するほど、罪を離れるようになり、誘惑に対しても強くなる。神の偉大さを知れば知るほど私たちは正しく神を恐れるようになり人を恐れることから自由にされていく。神を心を尽くして愛することは日々の営みであることを覚えよう。



【今週の暗唱聖句】 第一サムエル 16 : 7

人はうわべを見るが、主は心を見る。

ダビデは詩篇139篇の最後で「私のうちに傷のついた道があるか、ないかを見て、私をとこしえの道に導いてください。」と願った。私たちも正直なら、自分たちの心がいかに弱いか、また自分がいかに偽善的であり自分を棚に上げて人の批判をしたりしてしまうか知っている。私たちは自分の力では神の御前に正しい道を保つことすらできないことを知っているのだから、常に私たちの心を見通しておられる方を恐れ、聖霊の助けを求めつつ、罪と戦って歩むようでありたい。



【聖書の徳目リスト】

以下のリストは私たちの家庭教師である聖霊と共に、誠実に一つ一つの人生レッスンをこなしていく時に「結果として出来るようになる」徳目リストであることを覚えよう。クリスチャンはこれらを行なうことで救われるのではなく、十字架を通して赦され、救われたからこそ、今度は逆に、神に喜ばれ、用いられやすい者となるためにこれらの物を身に付けようと、日々聖霊と共に歩み、努力すべきなのである。

I コリント13

愛のリスト

寛容
親切
ねたまない
自慢しない
高慢にならない
礼儀に反さない
自分の利益を求めない
怒らない
人のした悪を思わない
不正を喜ばず
真理を喜ぶ
全てを我慢する
全てを信じる
全てを期待する
全てを耐え忍ぶ

I コリント13

いつまでも残る

三つのもの

信仰
希望
愛

ガラテヤ

5 : 22-23

御霊の実

愛
喜び
平安
寛容
親切
善意
実和
柔自

コロサイ 3

神に選ばれた者と して身に付けるべきもの

深い同情心
慈愛
謙遜
柔和
寛容

互いを忍び合う
互いを赦し合う
結びの帯として
愛を着ける
キリストの平和
で心を支配
感謝の心を持つ



II ペテロ 1:5-9

信仰に加えるべき

物リスト

信仰
徳
知識
自制
忍耐
敬虔
兄弟愛
愛

ヤコブ 1

様々な試練を喜ぶ
信仰が試されると
忍耐が生じる
忍耐を完全に働かせると成長を遂げ
完全な者となる